

平成26年5月21日

第69号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47  
TEL 0798(33)7713  
FAX 0798(33)7743

## ～手をつなぐ 心をつなぐ～

一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
会長 小川 加代子



平成20年に代表委員に「何かお手伝いできるのでは…？」と翌年理事に就任、2年後副会長3年を経て、今回、山本加津美前会長よりバトンを受けとることになりました。

受けとったもののバトンはとても重く、戸惑っております。山本前会長のようなひらめきも、ダイナミックな推進力もありません。しかし何とか前に進んでいかなくてはなりません。副会長、理事、事務局の方々と話し合い、協力し合いながら心一つにして、一歩ずつではありますが、“やるなら楽しく！”をモットーに育成会活動に励んでまいります。

さて、昨年4月に「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」に法律の名称が変わり、内容も見直されました。今年4月からの改正では、程度区分が抜本的に見直され、「障害程度区分」が「障害支援区分」となり、重度訪問介護の対象拡大、グループホームとケアホームとの一元化など、知的障がいのある人への影響が大きいサービスの変更があります。

の中でも注目するのは「障がい者の高齢化、重度化や『親なき後』の問題への対応として地域における居住支援のあり方について早急に検討を行うこと」とされているところです。今後の動向を見ていく必要があると考えます。

知的障がいがある人本人及びその家族が、地域で普通に暮らせるための支援事業として、平成25年度は「地域を知る。地域とのつながりを考える。」というテーマで西宮市社会福祉協議会の協力を得て、分区の方、民生委員の方々のご参加をいただき、市内10ヶ所で地区懇談会を開催しました。

今年度は、西宮市社会福祉協議会主催、育成会は協力で他の当事者団体への呼びかけ、地域との関係づくりの機会として行われる予定です。ご案内をさせていただきますので、その折にはぜひご参加下さい。

50年の歴史ある「西宮市手をつなぐ育成会」先輩の方々が切り開いて築いてこられた道、思いをつなぎ、そして次の世代にバトンをつないでいく大切さを感じています。

地域とつながり、行政ともつながり、何より会員の皆様と手をつなぎ、心をつなぎ、理事一同新体制で進んでまいります。

あたたかな心でご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

## 4月からの障害者支援について

社会福祉法人 一羊会  
本部長 三浦 昇

今年1月20日、障害者権利条約の批准がなされたことはとても意義深いことですね。これからは世界的ルールでのチェック機能も含めた法整備を進めていくことになります。この間制定されてきた虐待防止、差別解消などの法もこれに向けての整備という事です。同様に昨年4月より施行された障害者総合支援法はこの4月より本格実施となり、概要は、以下の通りになります。

### ① 障害程度区分から障害支援区分へ（以前より改善されています。）

新しい障害支援区分は今までの介護面重視から判定が軽くできる傾向だった知的・発達障害や精神の障害のある人達の支援度が、実態に近い認定項目に修正されました。

（2年後は支給決定のあり方の見直し予定です。）

### ② 地域移行（定着）支援の対象拡大

障害者施設・精神科病院入院者を対象としていたものが救護施設や刑務所等に入所している障害者も支援の対象となりました。

### ③ 重度訪問介護の対象拡大

今まで、重度の肢体不自由で常時介護を要する者に限定されていたのが、知的障害や精神障害で常時介護を要する者が追加されました。ただし、行動援護の支給決定・利用の経過を経て実質的に利用できるようになった段階で重度訪問介護に移行するという手順が必要です。行動援護の支給を受けている方にとっては利用が広がりますね。

### ④ グループホーム・ケアホームの一元化

名称がグループホームに統一されました。

グループホームの種類としては、

- ①介護サービス包括型（今までのケアホーム）
- ②外部サービス利用型（今までのグループホーム利用者で介護が必要になった場合も事業者間の委託契約で介護サービスを使えるようになりました。）
- ③サテライト型（ワンルーム等での一人暮らしを目指している人が有期限で利用できる、家賃補助の対象になる。）

という3形態になりますが、消防法の規制強化も気懸かりなところです。

気になる生活基盤としてのホームづくりが、なかなか進まない西宮市にあっては、多機能拠点型整備、小規模入所施設も含めた地域で暮らしていくための方策についてしっかり議論しながら方向性を見出すことが課題ですよね。

今後は、「障害児支援のあり方に関する検討会」、「障害者の地域生活支援の推進に関する検討会」からの報告を受けて、西宮市においても自立支援協議会等でそのあり方の検討を進め、現在開催されている西宮市障害福祉計画策定委員会に、知的障害分野で深められた内容を提言していく必要があります。

その意味で、育成会の果たす役割は大きい事を認識して、「希望のもてる明日に向けて」いっしょに頑張っていきましょう！！

## オープンセミナー「ともに育ち、ともに生きる」

「発達障害のある子の苦手なことと得意なこと～発達障害の世界の理解～」をテーマに武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科教授 石川道子氏を講師として1月21日に第3回オープンセミナーを開催しました。参加者68名（内会員20名）で、アンケート回答者41名でした。

### 発達障害支援の常識

- ・診断は支援につながることが重要  
情報処理の特性を理解⇒効果的対応  
年齢が低い診断は、二次障害を予防できる。  
確定診断にこだわらずまず支援を。
- ・生涯にわたる支援を予定すること  
乳児期から発達の違いは存在。
- ・自然に獲得できないことがあるので、  
教えることが必要  
問題行動は適応行動ができないからと考える。



発達障害の中でも、自閉症スペクトラムは、物をどのように見て、どのように情報処理をしているかで診断します。その特性を理解したうえで、支援をしていくことが重要です。

### アンケート結果

#### とても参考になった：31名

- ・本で読んだりしていた自閉症の知識だけでなく、もっと深い所を掘り下げていただいたようでした。子どもに寄り添うことが大事なんだなあと思いました。

#### 参考になった：9名

- ・訓練して出来ること、出来ないことがわかった。どちらかといえば、低年齢の子の話が多くかったと思います。思春期の子どももかそれ以上の話も聞きたい。

#### 参考にならなかった：1名

- ・一般論、年齢が低いお子さんが対象かなと思う内容が多いように感じた。知っている内容も多かった。

#### その他に

- ・石川先生の話をもう一度！：11名
- ・具体的なケースでの対応策、ノウハウをもっと披露していただきたい。
- ・周りの人たちの理解が必要なので、ぜひこの話を聞いてほしい。
- ・相談時間がほしかった。 etc、etc...

### さらに知っておくと役立つこと

- ・話す人の目を見ると、聞くことができない。
- ・パニックのときには⇒刺激しないで！安全確保して鎮まるのを待つ。  
パニックが落ちついた後に⇒「何があったの？」と思い出させないで！気持ちを切り替えることが大切。  
パニックを防ぐには⇒生理的に良い状況にしてあげること。本人からの要求がなくても、空腹や脱水や寒暖差に気配りを。  
パニックを恐れないで⇒ずっとパニック、ということはないので、パニックを怖がらずに間違った学習をさせないで。



## 地区懇談会を開催しました



「地域を知る、地域とのつながりを考える」をテーマに、西宮市社会福祉協議会の協力を得て行いました。  
 (今号は、後半の6会場に参加された方の感想を掲載しています。)



今まで障がい者の方とは接したことがあっても、その家族の方から直接話を聞かせていただいたことは殆どありませんでした。今回「手をつなぐ育成会」の懇談会に参加して印象に残ったことは、例えば日常的なことでは、転居先で信頼できる主治医をさがしたい。子供の成長に合わせて環境を整えるにはどうしたら良いかなどです。こういう機会を通して、視点を変えて周りを見る大切さを、少し学んだような気がしました。

神原分区 福原 由美

話しやすいよう3つの小さいグループに分かれて始まり、障がいを持っていても通いやすい病院の情報から地域の小学校のボランティアの方のエピソード、普段の生活で困っている事など色々な話題で盛り上りました。地域の方々と交流を深める事ができ、楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。

小池 佳子



日頃のご苦労も見せず皆さん大変明るく話し合われ、お互いに理解を深めることができ、とても良い機会になったと思いました。

地域に出るということに消極的になりがちですが、地域の皆さんに知ってもらい、地域でいっしょに助け合い協力してもらうには、積極的に地域の行事などにどんどん参加して、地域とつながることに積極的になりましょうと意見が一致しました。

用海分区 葛馬 由紀子

初めての参加だったので、同じ地区にどんな方がいらっしゃるのか楽しみにしていましたが、参加者が少なくて、残念でした。けれど、地区的社協の方々に子どものことを知らうきっかけがけてよかったです。

岡 直美



お話を聞きする中で、障害を持つ子の親としてすごく明るく前向きなので少しひっくりしました。

今は開きなおっていると言われた方や、地域の方に娘さんことを知ってくれる人が多くなることを願っていると言われた方、みんなが、そう思えるようになるまでの心の葛藤がすごかったのではないかでしょうか。地域の方が毎回声をかけてくれると本人も顔を覚えるとも言われていました。私たちも積極的に声をかけて行こうと思いました。

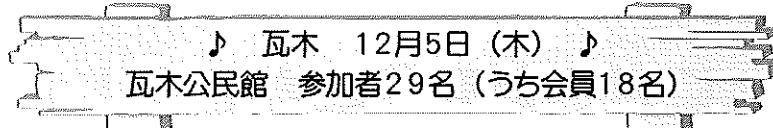
障害があってもなくても、親としての気持ちはみな同じです。今回の懇談会でいろいろ学ばせて頂きました。ありがとうございました。

芦原支部 木下和子 山藤紀代美

初めての参加でしたが、分区の方が、知的障がいの人とどうふれあえばいいかと熱心に考えておられ、うれしく思いました。

近所の仲間や役員さんの存在も分かり、皆がまず、声を掛け、知りあうことが大切と再確認しました。

伊藤 啓子



社協からは「見守り支援活動」の説明と共にどなたでも参加できることをお伝えしました。

保護者からは子どもが年齢を重ねていくことと自身の年齢が高くなって将来がとても心配という声や現在のサービスでは一人暮らしに踏み出せないなどの問題があがつた。

今後は地域の行事に少しずつ参加し顔なじみになることが大切なことで短時間でも参加していきたい。また、町内自治会が住民を知っているのでここで専門職員とともに支援していくことができれば個別の対応も可能になってくるのではないか。

今回、交流できた事と共に先を考えた支援の重要なことも確認できたと思います。

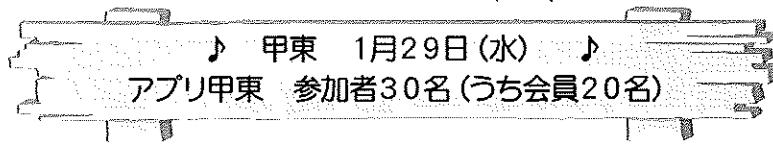
瓦木分区 びわきに 批杷谷 由美子

障がい者とその家族は地域とのつながりによって生活の質がかわる事が多いと感じました。

地域で受け入れられ、理解されると本人は安心していきいきと伸びて行くでしょう。

そのためにも本人や家族で基本的なマナーを身につけるよう努力をし、お互いに住みやすい環境を作つて行ってほしいですね。

やん 梁  
はんすん 漢順



懇談会に参加し、親同士が集まって話す場の大切さを感じました。障がい者のいる家族は普段の私の生活では想像もつかないような悩みや不安を持っておられ、その思いを話せる場があること、また、共感できる仲間がいることの大切さを感じました。ありがとうございました。

甲東分区 荒木 宏子

在宅の方は早くホームに入れたいとか、ホームの方も病気になった時の不安や、知的障がい者用の老人ホームが欲しいとか、色々な意見が出ました。

悩みや不安は、皆さん同じなんだなあと思いました。

池上 知佐子



障がい者の家族の方のお話を聞いて子供さんの長所などよく理解され、社会に自立させて行こうと前向きに行動されている父兄の方のパワーを実感しました。

が、本人主体ではない社会との矛盾もありジレンマを抱えているのも事実です。「福祉」と言う言葉だけが一人歩きしない様にやがて私達も障がい者の仲間だと思ってもっと身近な「福祉」となる様に考えて行かなければいけないと思いました。

春風分区 南出 悅子

地域ボランティアから参加させていただき、自立に向けて生活しておられる方々の様子や家族の方からのお話を聞きすることができました。

特別な事でなく「あいさつ」程度からでも、地域とかかわりがもてたらと言うご意見がありました。私達も声かけを積極的に行ない、つながりを大切にして相談しやすい地域の場になれる様、活動していかなければと思っております。

春風分区 鈴木 英子

地区懇談会に参加して、地域の方々のお顔や、その活動を知る事ができました。

当たり前の事ですが、地域の方々との挨拶から繋がりが広がっていくのだと、改めて思いました。お互いに負担にならず、支えて頂けたら嬉しいですね。

中田 郁子  
(敬称略)

**学齢期部親子教室****いつしょにからだをうごかそう！Part2**

平成26年3月29日（土）、西宮市総合福祉センター体育室にて、親子教室「いっしょにからだをうごかそう！Part 2」を開催しました。当日の参加者は、会員親子5組、体験参加親子1組でした。

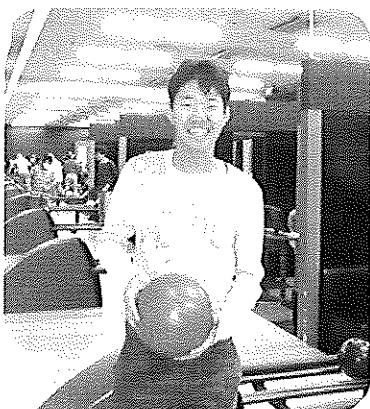
スポーツ事業係の牧祐紀子先生、上野綾香先生、上野仁士先生にご指導をいただき、準備運動、ウォーキング、ボールを使った運動などをしました。

普段から体を動かしている子どもたちは、元気いっぱい！それに比べると、親たちはバテバテ。翌日以降筋肉痛に苦しみました。運動不足を痛感します。でも子どもが大きくなり、一緒に運動をする機会も減ったので、1つのボールを使って二人で走ることができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

**レクリエーション部****ボウリング大会を開催しました**

社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の平成25年度「年末年始ふれあい交流事業」の補助金により、12月8日（日）、T.TBOWLトマト西宮でボウリング大会を開催しました。

会員、本人さん、そのきょうだいなど家族、支援の方など41名がゲームをし、応援の方などを含めると参加者は、68名になり、にぎやかに交流を深めることができました。

**感想**

**今津 康平（すずかけ第2作業所）**

ボウリング大会楽しかったです。

ストライク出ました。

30位賞もらいました。

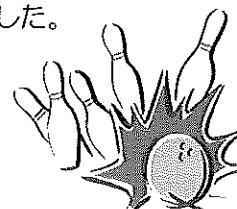
おやじいは、ラッキーセブン賞をもらいました。

おともだちはいっぱいきてました。

2ゲームしました。

ころがしました。

ありがとうございました。



## 県育成会本人活動支援部会

# 「ボッチャ」「フライングディスク」

～親子で体を動かして楽しもう～

平成26年3月30日(日)、西宮市総合福祉センター体育室にて、ボッチャ、フライングディスクを楽しみました。

フライングディスクとは、プラスチック製のディスク(フリスビーとも言われています。)を、10回投げて、5m(もしくは7m)先にあるゴールを通過した数を競うアキュラシーや、飛距離を競うディスタンスがあります。今回は、アキュラシーに挑戦しました。

つづいて挑戦したのは、ボッチャ。

ボッチャとは、イタリア語で「ボール」のことです。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。パラリンピックの正式種目になっています。



楽しかったです。フライングディスクも楽しかった。  
入った時も、入らなかった時もあった。

(鎌田明彦さん 社会人)

楽しかった。(佐野貴章さん 社会人)

フライングディスクは、練習はだめでしたが、  
本番は良かった。ボッチャは、帰ろうとした  
けれど、やってみてとても良かったです。

(黒田康弘さん 社会人)

フライングディスクは1回目は、なかなか入らず、  
2回目はうまく入りました。

ボッチャは、赤青両方とも、白玉に近づけて  
勝ちました。

(小見山祐輔さん のじぎくの会会員)

おめでとう  
ございます

## 表彰 ゆずりは賞

山口修平さん (当時芦屋特別支援学校高3 現武庫川すずかけ作業所上甲子園プランチ)

平成25年度用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールで文部科学大臣賞を受賞されたことが評価されました。

\*ゆずりは賞は、スポーツや文化活動で好成績を残した公立校の児童・生徒をたたえ、  
兵庫県教育委員会から贈られる賞です。

## 外部理事の交代

12年間外部理事を務めてくださいました  
三浦昇前理事に代わり、川上隆弘氏が  
新理事に就任されました。

三浦前理事、ありがとうございました。  
これからも見守って下さい。

川上理事、どうぞよろしくお願ひし  
ます。

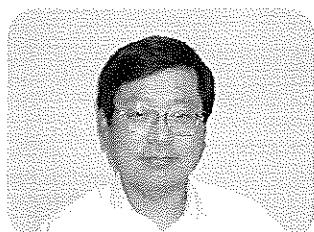


三浦 昇前理事



川上 隆弘理事

## 監事の交代

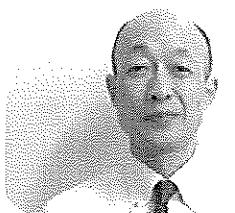


上田晴男前監事

12年間監事を務めてくださいました上田晴男前監事に代わり、松本寛氏が新監事に就任されました。

上田晴男前監事、お忙しい中お世話になり、ありがとうございました。  
これからは外部の立場で、いろいろご意見いただければ、ありがたいです。

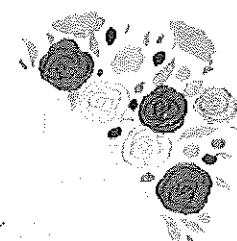
松本寛監事、どうぞよろしくお願ひします。



松本 寛監事

西宮市社会福祉協議会の松本です。  
監事の役割を果たす中で、少しでも  
育成会の発展に寄与できたらと思  
います。

どうかよろしくお願ひいたします。



## 退任理事

任期中は会員の皆さんにたくさんのご協力をいただき、本当にありがとうございました。  
これからは一会员としてさらに力を合わせて会活動に励みます。

山 本 加津美 前会長（社会人）	岸 貴美子 前理事（すずかけ作業所）
光 武 真 里 前副会長（社会人）	早 川 典 江 前理事（いづみ園）
田 中 ふみゑ 前理事（すずかけ作業所）	今 津 八代生 前理事（すずかけ第2作業所）
柴 山 洋 子 前理事（社会人）	松 本 信 子 前事務局員（すずかけ作業所）

\*山本加津美前会長は、相談役に就任されました。

## 新副会長ごあいさつ

**近藤 真由美**

乗りと勢いで突っ走った前回就任時とまるで変わらぬ未熟者です。再登板となります、経験が重しでなく糧になればと思っていました。頼りは多くの皆様の支え！よろしくお願ひいたします。

**本田 洋子**

この度、大役をお受けすることになり戸惑っております。経験の浅い私にどれだけの事ができるのか不安ですが、一生懸命務めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

## 新任理事ごあいさつ

**鎌谷 泰子**

この度の育成会理事の役は、訳もわからず引き受けてしまったというのが実状。不安この上ないです。でも精一杯働くかせてもらおうと決めて山越えしている昨今です。

**新田 喜代美**

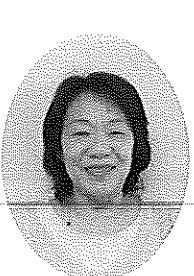
今年度、理事をお受けする事になりました。不安な気持ちでいっぱいですが…皆様のご指導とご協力をいただきながら務めさせていただきます。  
よろしくお願いします。

**池上 知佐子**

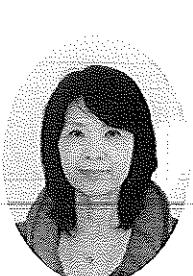
自分のような者が、理事という大役を引き受けていいのだろうかと、戸惑っています。  
これから2年間、日々研鑽させて頂きますので、皆様、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

**高橋 小百合**

身体も脳も軋みを感じているのに理事が務まるか少し不安ですが、わからないことは、先輩理事さんや回りの方に教えていただきながら、なんとかやっていこうと思っています。

**中谷 美津子**

知識もお金も品格もない未熟な私ですが、一生懸命頑張って参りますので、よろしくお願ひ致します。  
保護者会の意見を吸い上げる理事の役割を全うして参りたいと思っています。

**宮脇 葉子**

子供達の将来のため、より良い育成会を目指して頑張ります。宜しくお願いします。

## 新事務局員ごあいさつ

**中田 郁子**

今年度より事務局のお手伝いをさせて頂く事となりました。  
お役に立てるか心配ですが、色々な方々との出会いも楽しみにしています。  
どうぞよろしくお願ひします。

**阪井 恵子**

事務局をおおせつかりました。  
社会人所属の阪井です。  
今だ不安でいっぱいですが、よろしくお願ひします。

## 平成25年度 ご寄付していただきました

(敬称略 順不同)

社会福祉法人「一羊会」 橘実千代 太田博 社会福祉法人「新生会」 丸岡会計事務所  
 阪神地区連絡協議会 大前学園 西宮市肢体不自由児者父母の会 西宮市難聴児親の会  
 福祉ボランティア「グループ雑草」 中野陽介 唐沢文子 松本信子 木村純子 小林マサエ  
 岡眞子 佐々木康晴 三浦昇 石井修 上田晴男 栗林和徳 古川勝

ありがとうございます！

## 平成25年度 ご贊助していただいている皆さまです

(敬称略 順不同)

三浦昇 川上隆弘 山本輝 西原誠 秋山健一 仲野康子 佐藤寿美 花澤陽子  
 中島忠男 阪本美奈 安田文彦 仲塚千夏 玉村悠南 丸山千絵 東美穂 清水洋  
 田中保奈美 宮川達 佐竹基弘 四方勝 大川裕紀 吉田高 栗原裕実 堀江史子  
 松枝千尋 谷田松子 横田大輝 濱岡ちゑ子 岸利之 上林達児 伊藤博章  
 掛水すみえ 北川泰寿 堀執 吉川治子 太田博 西田信子 佐々木康晴 橘実千代  
 石井修 塩谷健介 齊藤未希 枝植匠 山口由香 徳増幸 久保廣高  
 升谷静香 西井明子 今井広宣 平見有美 木村美穂 直野真澄 三木さおり  
 古川勝 高田沙織 中村喜弘 斯波幸人 古川三晃 村内光一 黒瀬雅子

ありがとうございます！

## 会員を募集しています！

講演会や研修会に参加して知識を深めたり、会員同士の交流を通していろいろな情報を得たり、他にも親子で参加する楽しいイベントを企画しています。

- ・入会金 入会時 10,000円  
(学齢期会員・本人会員は免除)
- ・年会費 正会員 10,000円  
(学齢期会員は、5,000円)
- 本人会員 免除  
(親のいない知的障がい者)
- ・育成会協力金 年額 10,000円  
(学齢期会員は猶予・本人会員は免除あり)

当会をご支援くださいませんか？

賛助会員としてサポートをお願いします！

## 賛助会員会費

年間 一口 2,000 円  
(何口でも可)

## お申込み・お問い合わせは

～知的障がい者本人と保護者の会～  
一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
Tel(0798)33-7713  
Fax(0798)33-7743  
E-mail:nishi-ikusei@kke.biglobe.ne.jp

会計は 4月1日～翌年3月31日までを1年としています。 (年度途中も入会可)

第69号が出来上りました。皆様によりよい情報を届けし、楽しんでいただけるよう広報部一同取り組みました。お忙しい中、ご寄稿、ご協力いただきました方々に心より御礼申し上げます。